



2020～21年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

Weekly Report Niigata



2020～21 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀松



国際ロータリー

2020～21 年度テーマ

ロータリーは機会の扉を開く

新潟 RC 2月第 3 例会 (2021.2.16)(書面例会併催) No.3354

(1) ロータリーソング「我等の生業」ピアノ演奏

(2) 高橋 秀松会長挨拶

来週2月23日は天皇誕生日ですが、116年前ロータリーの誕生した日です。そして「世界理解と平和の日」となっています。本来であれば市内7ロータリークラブ合同例会でしたがコロナの関係で中止となりました。本日は創立記念日2月23日にちなんだお話をさせていただきます。

ポール・ハリス(ロータリーの創始者)は1896年にシカゴで法律事務所を開業いたしました。資料によりますと、弁護士の仕事は順調でしたが、シカゴは生まれ故郷ではなく、友人もおらず、シカゴの生活は孤独だったと伝えられています。ポール・ハリスは、どうにかしてこの大きなシカゴで、様々な職業から政治や宗教に関係なく、お互いの意見を広く許し合えるような人たちの、親睦関係を作れないものだろうかと考えました。

その考えを1905年2月23日の会合で披露したわけです。会場はホテルでもレストランでもなく、会員の職場でした(ガスターバス・ローアの事務所、今は復元されて、シカゴのRI本部に存在します)。会合に出席した仲間とは、ポール・ハリス37歳と洋服仕立て業のハイラム・ショーレー43歳、石炭商のシルベスター・シール35歳、鋳山技師のガスターバス・ローア41歳でした。

この最初の会合こそが、後に200以上の国と地域に広がり、約36350のクラブと119万人以上のクラブ会員を有するようになったロータリーの第一歩でした。

ポール・ハリスは後にこの集會について次のように述べています「シカゴという大都會に集まった、この小さなグループの會員にとって、ロータリーは砂漠のオアシスのようなものでした。會員たちはみんな少年に戻るわけです。私にとってクラブの集會に出席することは、子供のころの懐かしい故郷に帰るようなものでした。」

ポール・ハリスは、まさに親睦を目的とした、親類のような付き合いのできる、一業種一會員の社交の場、ロータリークラブを創造した訳です。

私たちは、今でも、116年前と同様に、ポール・ハリスの求めた「親睦 人脈 くつろげる場所」を求めてロータリーに参加をしているわけです。最初から社会奉仕がたくてロータリーに入った方はほとんどいらっしゃらないはずです。

新潟ロータリークラブは、皆さんにとって、ポール・ハリスのいう砂漠の中のオアシスになっているのでしょうか。入会して間もない方にとってはオアシスどころか緊張する場かもしれません。在籍する期間が長くなるにつれて少しずつ居心地の良い空間になって来るはずです。コロナ禍では席の配置もスクール形式となっておりますが、次回の例会ではぜひ、初めての方の隣に、今まで声をかけそびれた方の隣に進んでお座りください。その際には、先輩会員の方に積極的に話しかけてください。きっと優しい言葉で対応していただけるはずです。また状況が許せば、積極的にクラブの行事や委員会活動に参加していただけるようお願いいたします。またお誘いあわせの上の親睦会もよいのではとも思っています。このような私たち一人一人の行動が、クラブの例会をオアシスにできる手掛かりになるのではないかと思います。

今日は、ロータリー創立記念日ポール・ハリスの思い、についてお話ししました。

(3) 新会員紹介



日本銀行新潟支店
支店長 東 善明君
紹介者 小山 楯夫君
所属委員会
ニコニコボックス委員会

はじめまして。私は石川・能登の小さな港町で生まれ育ちました。叔父が漁師で、小学生の夏休みには小舟で沖合に連れて行ってもらい、富山湾を挟んだ立山連峰の朝日を眩しく眺めたものです。能登には夏祭りなどの民俗文化が色濃く残っていたうえ、当時、テレビや雑誌で盛んに紹介され始めた海外事情に好奇心や憧れを持ったことから、大学では文化人類学を学びました。実学ではありませんが、物事をフラットに判断する相対的な価値観が身についたように思います。高校では器械体操、大学ではフェンシングに明け暮れました。そこで体力だけは残っているだろうと、中国や米国の滞在時には、少数民族の暮らす高地などに足を運びました。さて、新潟には初めての赴任です。まだまだ理解不足ですが、皆様のご指導を仰ぎつつ、この豊かな里山里海を舞台とした地域経済の更なる発展に貢献できればと思っています。宜しくお願いします。

(4) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(東方幸雄副委員長)

田村貫次郎君

米山奨学会寄付発表(徳永 昭輝委員)

本多 晃君 徳永 昭輝君

青少年育成基金寄付発表(本多 晃委員長)

本間 彊君 徳永 昭輝君

津久井勝之君 本多 晃君

(5) ニコニコボックス紹介(中尾嘉則副委員長)

・石橋 正利君 次男が立ち上げた「ギグワーク研究所」で三男の弁護士と一緒に働くことになりました。二人で力を合わせて社会貢献できることは嬉しいことです。ニコニコします。

・藤井 邦之君 日本銀行の東 善明支店長の新潟ロータリークラブへのご入会を心よりお喜び申し上げます。北京御勤務時代に弊社総経理が大変お世話になりました。新潟での益々のご活躍を祈念申し上げます。

・佐藤 隆夫君 バレンタインデーに、結婚記念日を御祝いするアマリリスの鉢植えが届きました。まだ、つぼみは硬く、咲くのに一週間はかかりそうです。アマリリスの花言葉は「誇り」「内気」「おしゃべり」私達にピッタリです。ありがとうございました。

(6) 幹事報告(佐藤 邦栄)

例会終了後、新会員オリエンテーションを4階「朱鷺の間」で開催いたします。

(7) 卓話卓話「新潟いのちの電話の活動について」

新潟いのちの電話理事 渋谷志保子氏

(8) 2月16日例会の参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
90	88	56	63.64

2月23日は祭日につき例会は開催されません。

次回例会は3月2日、第一例会につき卓話はございません。

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>